

平成 21 年度 地域発案システム 実施結果

宮崎森林管理署都城支署

取組名	<p>「都城発 国有林からの招待状」の発信（Ⅱ） <オオヤマレンゲ自生地への入込み防止柵等の設置(緊急対策)></p>	
署等名	<p>宮崎森林管理署都城支署</p>	
実施した取組の内容、成果等	<p>霧島山に自生するオオヤマレンゲは、近年の入込み者増加に伴い、コケ・シダ類の地表植生の剥離や根の踏み荒らしによる樹勢の衰えがあった。そのため、春の開花時期を前に、九州自然歩道からの入込み防止柵を設置するとともに、自生地周囲へのロープ囲いと保護啓発の看板を設置した。</p>	
取組体制	<p>環境省と現地確認を行い、緊急的な措置と今後の保護対策について検討した。</p>	
自己評価	<p>当初、地元関係機関や小学校等と連携して標識類の設置を検討していたが、今年度においては、入込み等により成育が危ぶまれるオオヤマレンゲ保全の緊急性に鑑み、環境省と連携しての保全活動を実施した。 霧島固有の希少な樹木であり、成育箇所が 1 箇所でも本数も少ないことから、保全活動として有意義な取り組みであった。</p>	
今後の展望	<p>現在のオオヤマレンゲは樹勢が衰えつつあり、絶滅が危惧されるため、精鋭樹の育成に取り組む。</p>	
<p>新聞等掲載状況</p> <p>オオヤマレンゲの開花時期に各報道がされるため、その前にプレスリリースを行い、モラルの向上と併せて報道を要請する。</p>		